

No.58



令和4年9月5日(木)発行

長かった夏休みも終わり、9月に入りました。猛暑と天候不 順の今年の夏は、新型コロナの影響を受けながらも、3年前 と同じように、目いっぱい色々な講座を企画をしました。亀岡 生き物大学も今年は研究員を募集し、7月9日に開校式を行 いました。秋にかけてもいろいろな講座を行う予定です。コロ ナウィルスの予防を心掛けながら、野外の活動を楽しみまし ょう!では、子ども村便りを始めます。(=^・^=)

◎これまでの行事報告(5月~7月)

亀岡生き物大学 特別講座 「親子で行こう!大阪市立自然史博物館」

5月28日(土) 午前9時~午後5時 参加者:26人 講師:田中 学芸員(大阪市立自然史博物館)

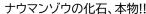
3年ぶりのバス見学、子ども村の植木環境学習指導員の手 製の紙芝居で「地球に生き物が生まれた(古生代)」を、事前学 習しながら大阪市立自然史博物館へでかけました。

いよいよ博物館です。田中学芸員が「化石について」講義し てくれました。本物の化石を参加者の代表2人が持って触っ て見て、感想を発表しました。先生は自分が行った化石の発 掘現場の映像を交え体験談もお話しされました。子どもも、 保護者も熱心にメモを取っていました。

次は、恐竜の化石などの展示室を見学、大きな化石に「す ごーい!」「これ、好きなやつ!」など楽しそうに見ています。 そこには、触ってもよい化石がたくさん展示してあるので、み んな大喜びです。お昼には、長居公園の植物園の芝生で、お 弁当を広げました。午後からは、自由見学です。再び博物館へ

行く人、隣 接する植物 園の満開の バラを見る 人、と思い 思いに楽し みました。







亀岡生き物大学 特別講座 「ホタル教室」



\$

6

à

(h)

(

6

(h) **(b)**

6月3日(金) 午後7時半~9時 参加者:32人

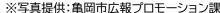
講師:植木 永子(環境学習指導員)

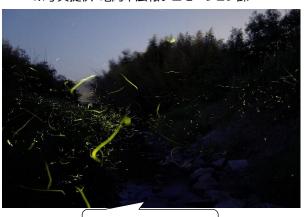
今日の会場はガレリアかめおかです。亀岡市は、街中でもゲンジ ボタルが見られる、自然豊かな場所です。特に、水がきれいな川 には、5月下旬から6月中旬まで、ホタルが飛び交う幻想的な風 景※が見られます。まず、植木環境学習指導員が、ホタルの体の 仕組みや生態ついて、講義を行った後ガレリアからほど近い、曽 我谷川のホタル生息地まで参加者をご案内しました。

5日月がかかる空は良く晴れていますが、足元が暗いので参 加者も少し不安げな様子。川べりに出ると、ホタルがそこかしこ で光っていました。「わー!すごい!」「たくさんいる!」

橋の上から見ると、下流側は竹やぶになっていて、奥から近く まで沢山のホタルが光り、上流側も少ないながら、50頭以上い るようです。「こんな近くにホタルがいるなんて、知らなかった!」 この場所は、よく川遊びに来るそうです。「昼間と全然違う。」兄 弟で参加した子どもたちが興奮した様子で話してくれました。

現地でゆっくりホタルを観察した後、小さなお子さん連れの ご家族から、三々五々流れ解散になりました。最後に「こんなに 沢山のホタルが見られて本当に良かった!」との声、ホタルの住 める亀岡の豊かな自然を、このままずっと残していきたいと思 います。





曾我谷川のホタル

亀岡生き物大学 特別講座 「ビオトープで観察しよう!」



6月18日(土) 午前 10 時~正午 参加者:23人

講師:岩井 大輔さん 講師の岩井さんは、環境 と生き物の調査のお仕事を されています。今回は、亀岡 高校の生物の先生と 2 人の 学生さんが、ボランティアに

最初は、講義を15分、ビオトープの意味と、そこでみられるカエルの種類に絞り環境のお話をされました。

駆けつけてくれました。

9999

999999



モリアオガエルの卵です。

また、危険な生き物の紹介と対処法も教えてくださいました。子ども村は、山の中にあるのでヤマカガシやマムシも生息 しています。自然観察には、十分な注意が必要です。

それからビオトープに移動、まず周りを見渡して観察、高い木の枝にはモリアオガエルの卵塊があります。「あ、あった!」「こんな高い所に!?」岩井さんが長い棒を使ってみんなに卵のありかを示してくれました。その後、キイトトンボやカマキリの幼虫など、草むらで観察できました。それから、子どもたちに夕モ網が配られ、池の中の生き物をすくって観察しました。オタマジャクシやヤゴ、マツモムシ、サワガニと、今回はタイコウチも捕まえられました。水の上を走るクモ、スジブトハシリグモも見つかりました。見つかった生き物を、岩井さんが一つ一つ丁寧に説明してくれ、最後にみんなでビオトープに戻しました。

教室に戻って、今日のまとめをしました。参加者は「モリアオガエルが、どうして木の上にたまごをうむのかふしぎ」「初めてトンボをつかまえた。」など、たくさん感想を書いてくれました。

亀岡生き物大学「開校式・水辺の教室」



7月9日(土) 午前 10 時~正午 参加者:41人

指導: NPO 法人亀岡人と自然のネットワークの皆様場所:川の駅・亀岡水辺公園(千代川町)

3年ぶりの開校となった今年は、初級研究員20人の募集に250人の応募があり、抽選で選ばれた子どもたちが参加しました。学長である、桂川孝裕市長が開校の挨拶をされ、記念写真を撮った後、水辺の教室が始まりました。NPO 法人

かめおか人と自然のネットワークの皆様が、色々な水辺の生き物観察の指導をしてくれます。参加者は、ライフジャケットを着用、タモ網をもって水辺へと出発しました。

昨日の豪雨が嘘のように、川は落ち着いた様子です。安全を確認しながら、子どもたちが網を振るのをサポートしてくれる NPO の方々、すくった生き物は、水槽に入れていきます。ひとしきり、生き物採集をした後、観察が始まりました。婚姻色を帯びたオイカワの雄が美しく、印象的です。また、タイコウチやコオイムシも見つかりました。コオイムシは、環境省のレッドデータブッ



子育でする昆虫です。 説明を聞く子どもたちの目が輝いています。色々な、水生の生き物を観察した後は、川流れの体験をしました。保護者の方が、「手厚く守っていただいて、安心してみていられます。」「楽しそうですね!」戻ってきた子どもたちの生き生きした顔が、自然の中で遊ぶ楽しさを物語ってくれました。

遊びに来たよ!来村報告(5月~7月)

日程	名称	人数	目的
5月20日(金)	本梅子ども園	24人	遠足
5月25日(木)	別院保育所	15人	山登り
6月17日(金)	青野小学校	16人	見学
6月21日(火)	千代川幼稚園	31人	園外保育

地球環境子ども村では、教育機関や団体などの来村を受け入れています。野外活動、山登り、園外保育などにご活用ください。詳しくは、下記子ども村までお問い合わせください。

さて、地球環境子ども村では秋の特別講座 が始まります。子ども村の行事や催しについ ては、広報かめおかや、地球環境子ども村の HP、フェイスブック(右 QR コード)、インスタ



(T)

6

6

6

99999999

6

グラムをご参照ください。お電話でのお問い合わせは、平日の午前 9 時から午後 5 時までにお願いいたします。(文責:植木)

地球環境子ども村

〒621-0242 亀岡市宮前町神前長野15

Tel: 0771-26-6100 Fax: 0771-26-5002

Email: kodomomura@city.kameoka.lg.jp